

＜桐生市環境先進都市将来構想の推進に係る委員意見・提案等について＞

【ゆっくりズム宣言について】

項目	関連する 担当課	意見・提案	事務局回答
ゆっくりズムの宣言について	環境課	<ul style="list-style-type: none"> ・宣言に賛成ご意見多数。 ・新型コロナウイルス感染症の問題も人間による環境に対する悪影響に起因すると思う。環境負荷を低減するゆっくりした移動を推進することの重要性を市民が認識できるには、宣言とともに具合的な施策の検討が必要です。公共交通をとりまく環境が今回の問題で大きく悪化し、従来に増して社会インフラとして支える仕組みの構築が急務となった様に思う。構想においても見合った形での積極的な見直しが必要となる可能性を感じます。 ・ゆっくりズム宣言をする場において、PR方法や提案の意味、価値をしっかりと伝えることが重要である。桐生市民が自ら考え行動できるヒントを提案するイベントにしていただきたい。 	<p>ゆっくりズム宣言においては、この度11月29日の未来の環境と健康の集いにおいて桐生市長及び当協議会宝田会長との共同にて宣言を行いました。宝田会長より宣言の趣旨をご説明いただき、ゆっくりズムの可能性をお示しいただきました。当協議会においては、本年策定しました追補版を基にゆっくりズムを推進していくとともに、会長及び委員様よりご意見いただいております具体的な施策を検討するワーキンググループ等を設置しながら今後推進していくこととなります。ワーキンググループ設置や今後の具体的な進め方については決まり次第委員様へご連絡をいたします。</p>

【桐生市環境先進都市将来構想実施計画について】

項目	関連する 担当課	意見・提案	事務局回答
防災拠点について	環境課 防災・危機管理課	<p>・学校や集会所・公民館などの予備電源設備について、検討となっているが、毎年1か所ずつ設置はできないのか。保健福祉会館の設置も近隣の方しか利用が難しいのではないのか。また、事業所への支援等は進めているのか。</p>	<p>・市内公共施設への予備電源整備に向けた取組について、予備電源となる蓄電池設備設置に伴う費用負担はいまだ大きい状況であり、中長期的な視点での整備を想定している状況になります。しかしながら、気候変動に伴う激甚災害は近年日本各地で頻発しており、桐生市においてもいつ被害を受けるかわからない状況にあり、早期の整備が必要と考えられます。そのような中、国の補助事業において、防災減災とZEB化を有した制度（再生可能エネルギー設備と蓄電池を備え、通常時は省エネ設備として利用し、災害時には予備電源として活用するもの）が創出され、市においても制度の要件に合致できるものにおいては利用を積極的に行ってきております。尚、保健福祉会館整備も国庫補助を活用しております。今後、新庁舎建設や市内公共施設整備において国の制度に合致できるものにおいては活用しながら順次整備を進めていきたいと考えます。</p> <p>・保健福祉会館は、現在子育て施策の担当課の窓口となっておりますが、保健師職員も常駐するため、災害時には医療機関と連携した救護本部が設置される防災拠点としての機能が主となることを想定しております。また、体育館などの多数の避難市民を受け入れる指定避難場所ではなく、緊急時の一時的避難者を受け入れる指定緊急避難場所に指定されておりますが、災害時でも電力が確保される施設であるため、季節昼夜問わず円滑な救護活動の実施が可能となると共に、JR桐生駅に隣接しているため、帰宅困難者への一時避難場所としても利用が想定されます。</p> <p>・事業所への補助事業については、現在省エネ設備整</p>

			備推進の側面から小規模事業者向けの補助事業を実施しているところです。
市庁舎クリーン電力について	環境課 総務課	・市庁舎クリーン電力導入について、令和2年度予算26,475千円の予算内訳は何に使うのか。	市役所本庁舎の1年間の電気使用料としての予算計上額となります。クリーン電力(温室効果ガス排出係数0%)を販売する電気小売事業者と本年度電力調達契約をおこなっております。
梅田ふるさとセンターについて	林業振興課	・梅田ふるさとセンターの運営主体は指定管理者か。	センターの管理は指定管理となります。梅田ふるさとセンター管理運営組合が行っております。 ※平成31年4月1日～令和6年3月31日(5年間)
森林環境譲与税について	林業振興課	・森林環境譲与税を積極的に活用し、森林整備、林業従事者の人材育成・担い手対策、木材の利用推進を行い、桐生市の山林価値を高める事も重要となる。	森林環境譲与税は、『森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律(平成31年3月成立同年4月一部施行)』により、森林の整備やその担い手の育成、普及啓発、木材利用の促進等の費用に充当される制度となります。 桐生市においては、令和元年度16,509,000円の交付を受けており、森林環境整備基金への積み立てや、森林整備担い手対策事業へ充当しております。 ※「森林環境税」は令和6(2024)年度から課税が開始され、「森林環境譲与税」は、令和元(2019)年度から譲与が開始されました。
ぐんままちづくりビジョンについて	都市計画課	・令和2年度予算ぐんままちづくりビジョン58,611千円は何に使うのか。	群馬県の事業である新桐生駅前広場整備に伴う市の負担金及び駅前駐輪場整備費となります。